

ガーデン・ツーリズム登録制度 令和3年度 登録計画事業実施報告 北海道ガーデン街道協議会 令和4年3月31日

具体的な事業の実施状況

事業名：共通チケットの販売

実施主体：北海道ガーデン街道協議会⇒帯広観光コンベンション協会
と大雪森のガーデン

事業期間：2021年4月末～10月中旬

実施施設：大雪 森のガーデン・上野ファーム・風のガーデン・
十勝千年の森・真鍋庭園・十勝ヒルズ・紫竹ガーデン・六花の森

実施概要

- 個人向けチケット(4カ所入園可能2800円)
- 団体ツアー向け※3施設、4施設、8施設の3種類
2020年は上記のようなチケットを作成したが、コロナ状況もあり、
2021年度は添付写真のような十勝と上川エリアチケットを販売した。
- 販売枚数：十勝花めぐり共通券 2021年度販売枚数 3,415枚
上川エリア3つの庭旅チケット 2021年度販売枚数 606枚

【結果まとめ】2020年に続き北海道ガーデン街道の主要顧客である50～80代はコロナに罹患すると重症化しやすいため壊滅的な打撃を受けた年となった。

来年度となる2022年はワクチンや経口薬の早期普及による観光需要のアップを期待したい。

ガーデンをお得に巡るのにおすすめのチケット!

■とちかち花めぐり共通券

十勝のガーデンをめぐりには、大変お得な「とちかち花めぐり券」があります。十勝にある5つのガーデンの中から3つを選んでお得にめぐれるチケットです。世界で唯一のばんえい競馬の入場引換券付き。

お一人様 2,000円 (税込)



■上川エリア 3つの庭旅チケット

風のガーデン(富良野)・上野ファーム(旭川)・大雪 森のガーデン(上川) 3つの美しい庭がお得に巡れるチケットです。それぞれの施設でチケットが購入できます。シーズン中なら好きな時に、どの施設からでも巡ることができます。

お一人様 2,300円 (税込)

お問い合わせ先 ●とちかち観光情報センター TEL 0155-23-6403 ●ふらの観光協会 TEL 0167-23-3388
●旭川観光物産情報センター TEL 0166-26-6665

詳しくはホームページをご覧ください

北海道ガーデン街道公式ホームページ <https://www.hokkaido-garden.jp>

事業名：共同でPR(HPやパンフレット作成等)

実施主体：北海道ガーデン街道協議会

事業期間：2021年1月1日～10月18日

実施施設：大雪 森のガーデン・上野ファーム・風のガーデン

- ・十勝千年の森・真鍋庭園・十勝ヒルズ・紫竹ガーデン・六花の森
- ・ホテル大雪・星野リゾートOMO7 旭川・新富良野プリンスホテル
- ・北海道ホテル

実施概要 ●パンフレットの作成・手のひらサイズで携帯しやすく、すぐに捨てられないような形態で作成。

(サイズ 123mm×180mm 厚さ約 1.5mm ページ数16頁)

・印刷冊数：10万部 各施設から製作負担金として徴収し製作

・1月から製作開始し、3月末に完成させて、4月印刷配布を行った。

・最盛期となる5-9月にコロナによる緊急事態宣言やまんぼうが
続いていた事から配布枚数においては多少厳しい状況であった。



Le Tourisme Vert de Hokkaido

北海道ガーデン街道



2020年度版



【主催】北海道ガーデン街道協議会 【後援】旭川観光コンベンション協会、富良野・美瑛広域観光協会連合会、十勝観光連盟



太平洋フェリー

新日本海フェリー

MOL 商船三井フェリー

<https://hokkaido-garden.jp>

Le Tourisme Vert de Hokkaido

北海道ガーデン街道とは

北海道の代表的な美しい8つのガーデンが集中している、
大雪～富良野～十勝を結ぶ全長約250kmの街道です。
いずれのガーデンも北海道独自の気候や景観を生かした個性にあふれ、
自然の風景や山並み、アクティビティーを楽しめるとともに、
豊かな食も充実した観光ルートです。

Garden 1 大雪 森のガーデン

Garden 2 上野ファーム

Garden 3 風のガーデン

Garden 4 十勝千年の森

Garden 5 真鍋庭園

Garden 6 十勝ヒルズ

Garden 7 紫竹ガーデン

Garden 8 六花の森



●まとめ

2021年度は新型コロナウイルス(COVID19)により、4～10月は緊急事態宣言や蔓延防止、経過措置期間が発令され、北海道ガーデン街道がスタート、オンシーズンとなる6～9月の時期とも重なり大きな打撃を受けました。また毎年開催していたスタンプラリーなどのイベントや事業も各ガーデン開催を断念したところが多かった。

北海道ガーデン街道を利用する多くの方は東京や名古屋など本州の割合が50%以上、かつ過去データを見ると50～80代の来訪者が多く、比較的コロナ罹患をしたときに重傷しやすい層と重なっているため、他の観光業態と比べて2020年と同等の影響を受けたと2021年でした。

ガーデンの最盛期となる6～7月中旬の草花の最盛期を迎え、8～9月になると湿度や気温の落ち着き、10月に入るとガーデンそのものもが秋の気配を帯び、3段階で来場客は増えてくるのですが、本年は通常とは違いずっと低調のままでした。

その中でも飛行機や新幹線、バスなど公共交通を使って移動する本州の観光客ではなく、北海道内で自家用車を使用して来ることが可能なガーデン好きな方々を取り込むために広報プロモーションを行いました。

結果、8施設全体で159,400人(前年比106.5%)という非常に厳しい数字ながらも、昨年を上まわり善戦できたのではないと感じております。

●今後の取り組み

三回目のワクチン接種により観光需要の高まりを期待していますが、現状では経口薬の普及は夏～秋ころと予想されており、また新種のステルスやBA2ウイルスが広まる状況のため、次年度2022年度はパンフレットの部数や企画イベントはさらに縮小する方向で進めております。そのため来年に向けて、しっかりと体制と連携を整えつつ、近場のお客様に来ていただけるようマイクロツーリズムの推進をはかりたいと考えております。